

令和5年度 北見カトリック学園 紋別藤幼稚園 学校評価

1. 教育目標

- ・建学の精神でもあるイエス・キリストの心に倣い、神様を信じ、お互い助け合い、人への思いやりの心を持つことを日々の生活の中で体験し、神様への感謝を忘れない子に育てていく。
- ・自然との関わりを積極的に持ち、素直な心で自然の恵みに気づき、感謝をし、全てのものを大切にする心を養っていく
- ・今、ここにいる自分を創造してくださった神様に感謝し、与えられた諸能力を十分に発揮して、心身の調和のとれた子に育てていく

2. 教育目標達成に向けての令和5年度の重点

- ・子ども達一人ひとりの心の動きを大切に見守り、周りの人達との関わりから体験する色々な出来事を通して、人の痛みや喜びが感じられ、お互いに分かち合える子に育てる
- ・恵まれた自然環境に触れ、その恵みに感謝しながら、地球上に起こっている様々な出来事に関心を持たせていく
- ・発達段階に応じた自立を助け、必要な習慣や能力、意欲を養い、健全な心身の発達を図る

3. 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	3.5	教育内容を毎年見直し検討はしているが、教育環境を整えるための時間と教材準備のための時間の確保が課題である
保育の充実と園児との関わり	3.9	一人ひとりを大切に、きめ細やかな関りや子への対応はできている園児と職員の信頼関係も築くことができている
安全管理	3.8	園児の安全には十分配慮している事故やけがにつながりそうな事例が起きたときには「ヒヤリハット」として職員で検証をして注意喚起をしている 今年度、玄関の施錠システムや防犯カメラを設置した
地域の幼児教育機関としての役割	3	コロナウイルスが5類になり地域の小学校や中学校、看護学校などとの職場体験も受け入れ交流を持つ事ができた
教員の資質・能力向上	3.4	オンラインでの研究・研修を通して資質向上に努めているが、研修参加の時間の確保が課題である
保護者との連携	3.7	保護者との連絡はこまめにとっている ICTの活用で就労している保護者の方や、なかなか直接お会いできない保護者の方との意思疎通や連絡などはとりやすくなった

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 令和5年度の総評

結果	理由
3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナウイルスが5類に移行し落ち着いてきたため保護者の方に幼稚園のようすを見て頂く機会が増え喜んでいただけた ○玄関の施錠システムや防犯カメラの設置は保護者の方にも好評で安全・安心につながっている ○地域の子育て支援の拠点としては、講習会は1回しか開催できなかった 地域の方との交流や支援の在り方については情報を収集したり地域の小学校との交流など考えていく必要があると思う ○職員の資質・能力の向上意識はあるが、研修参加等の時間確保が課題だった

5. 来年度に向けての課題

- ・保護者のニーズに答えながらも、幼稚園の保育教育の重点目標をわかりやすく保護者の方にお伝えしていく
- ・地域の子育て支援の拠点としての自覚をしっかりと持ち、地域に根差した幼稚園としての質をより高める
- ・職員の働き方改革と、保育の質の向上を目指す